

難しといへり自然の險阻を要害よりして
関の設け置けりしに毫もゆるり人もあやな
やの解に

多海の嶺より三磯の上と云ふ大木繁り
て樵夫あつていたをたつて然も天正十九
年奥羽九戸の乱を鎮めて上杉嘉勝降臨
しあつた月日の地上一株を記し三磯ふふ
待伏しつゝに嘉勝幸平をとりし處あり
多海山の嶺三磯ふふのとなり樵夫を求て
をを色し一株あり後よ出あふとありい親

多海を越えあふ事と小寺氏の記より見へ
己二三十年以前吹浦村の樵夫彼處の岩穴
より鴉を拾ふといふ事ありて此所ありあ
に或人是を陳鶴といふ講堂より記て近年
とありき

又或書にむやみの関といふかむやの関とい
ふやとありといふといふ山嶺の陰に
の海をいふやと古俗村里の陰に隠れ
て見へるをむやといふ又人のたれぬ時と
ゆやといふたれぬ時と使の二字を